

飯南町総合振興計画等評価委員会

第1部会

<事業名>

- ・園芸振興対策事業
- ・森林セラピー推進事業
- ・担い手育成総合支援事業
- ・青年就農給付金
- ・リースハウス団地整備事業
- ・観光振興対策総合支援事業(観光協会運営事業)
- ・ふるさと応援寄附促進事業
- ・定住等総合支援事業(ビジネスコンテスト等)
- ・町行、町有林造林事業、公社造林事業
- ・清掃総務経常管理費

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築											
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-2 観光関連産業の拡大											
事業名	園芸振興対策事業											
事業概要 (計画P)	園芸振興を図るため、それに係る野菜・果樹の生産拡大、栽培技術向上や販売戦略の構築、循環型農業の推進などの活動への支援を行う。											
実施内容 (実施D)	園芸を振興していくために必要な経常的経費の負担、生産団体への支援などを実施。 ・果樹振興アドバイザーの配置 ・「ぶなの里」レジシステム更新への補助金交付 ・飯南町交流物産館「iまるシェ」への集出荷業務委託											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:産直事業の売上											
	KPI:ぼたんの郷・ぶなの里・iまるシェ・JAでの産直販売額を185,000千円に											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	145,000	148,200				185,000					
	達成率	—	80.1%									
	②目標事項:道の駅・産直市の売上											
	KPI:ぼたんの郷・ぶなの里・iまるシェでの産直販売額を120,000千円に											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	93,968	96,863				120,000					
	達成率	—	81%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	「飯南町農業振興計画」の中で、町や生産者、JA等の関係機関で、水稻中心の経営から園芸作物への生産転換を図ることで農業所得を向上していく方針を立てた。 (園芸作物生産目標額H27:60,997千円→H32:156,000千円)※生鮮野菜販売額 現場指導を行うため、果樹振興アドバイザーを配置し時期ごとの講習会を実施した。 産直市への支援としては、ぶなの里におけるレジシステム更新への支援や、iまるシェへの集出荷業務委託の支援を行った。									
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		「飯南町農業振興計画」の目標達成のために、園芸作物の担い手の確保、生産拡大を重点的に行っていく。農林業定住研修制度により将来の担い手となる研修生を確保し、これまでの新規就農者への施設整備支援やリースハウス整備に加え、既存農業者へのハウス新設・リフォーム事業もH28から実施し、町全体として生産面積確保を図る。あわせて共同選果場(トマト・メロン・パプリカ)を整備し、生産者が栽培管理に集中し、生産量の確保、品質の向上ができる環境を整える。 また、引き続き、栽培技術向上のための果樹振興アドバイザーの配置や、生産団体への支援も続け、現在課題となっている地産地消推進や冬期の農産物生産にかかる活動への経費支援も行っていく。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価 A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する 1

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-1 飯南ブランドの構築											
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-2 観光関連産業の拡大											
事業名	森林セラピー推進事業											
事業概要 (計画P)	森林セラピー事業を開始してから6年目を迎え、森林セラピーの取組は定着してきてはいるが、森林セラピーガイドの育成、町全体への波及した取組には課題もある。 飯南町観光協会との連携した利用客増加のための取組や町民への啓発を目的とした保健福祉課との連携事業など、森林セラピーのまちとして地元への更なる定着を図る。											
実施内容 (実施D)	・飯南町観光協会へ森林セラピー推進業務を委託(ガイドの手配、情報発信など) ・ガイドの育成(年間11回開催) ・セラピーロードにウッドチップの敷設											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項: 森林セラピー利用者数											
	KPI: 5年後に3,000人/年以上											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	2,110	369				3,000					
	達成率	—	12.3%									
	②目標事項:											
	KPI:											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値											
	達成率	—	#DIV/0!									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	飯南町観光協会設立に伴い森林セラピー推進業務委託が遅れたため、窓口業務が8月まで停止したため、大幅な利用者数の減少となった。しかし、HPIによる24時間受付可能な体制や、以前の窓口業務を改善し、ガイドとの連絡体制の強化を図った。									
	改善 (A)	C	また、智頭町との連携事業である山陰癒しの森共同体の活動として都市部の興味関心の高い在住者に向けてPRを行った。									
		【28年度における取り組みなど】										
	委員会 意見	森林セラピー基地に認定され9年目となるが、いまだに町民への普及が図れていないことから、健康増進、地域の活性化をキーワードに森林セラピーの推進を図る。										
		【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-2 農林業の振興											
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-3 「しごと」場の維持・創出											
事業名	担い手育成総合支援事業											
事業概要 (計画P)	農業後継者の育成を図り、農業生産額の拡大を目指すため、農業生産活動(穀物類を除く)を行ううえで必要なハウスや機械の整備費用の一部を補助する。											
実施内容 (実施D)	・農業後継者育成支援事業 認定就農者及び農業後継者(半農半X含む)が行う農業生産活動における施設整備及び農業用機械の整備費用に対し、予算の範囲内で補助金を交付。 (補助率)施設整備:2/3以内、機械:1/2以内 ・本事業を利用される方で、金融機関への借入金が発生した場合、予算の範囲内で利子を補給。											
目標数値・進捗状況	①目標事項:40歳代以下の就農者数											
	KPI:5年後に210人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	208					210					
	達成率	—	0.0%				国勢調査のため毎年度調査不可					
	②目標事項:農業法人数											
	KPI:5年後に法人30、認定農業者40人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数値(法人)	19	19				30					
	達成率	—	63%									
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課評価	農林業定住研修生1名がパイプハウス2棟の整備を行い、H28年4月からの就農に繋がった。									
		A										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		就農時の初期投資軽減を図り、円滑に就農が開始できるよう、引き続き新規就農者へのハウスや機械整備への支援を行う										
	委員会意見	【評価等に対する意見】										
		委員会評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-2 農林業の振興	
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-3 「しごと」場の維持・創出	
事業名	青年就農給付金	
事業概要 (計画P)	青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営の不安定な就農直後の所得を確保する給付金を給付する。	
実施内容 (実施D)	・青年就農給付金(経営開始型) 人・農地プランに位置付けられている原則45歳未満の認定新規就農者に対し、年間最大150万円(夫婦で農業経営の場合はその1.5倍の額)を最長5年間給付。	
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:40歳代以下の就農者数	
	KPI:5年後に210人	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数 値	208 210
	達成率	— 0.0%
	②目標事項:農業法人数	
	KPI:5年後に法人30、認定農業者40人	
		基準値 27年度 28年度 29年度 30年度 31年度(目標値) 備考
	数値(法人)	19 19 30
	達成率	— 63%
	数値(認定)	30 31 40
	達成率	— 78%
平成 27 年 度	評価 (C)	【27年度評価】
		担当課 評価 A H27年度の給付対象者はH25、26年度に農業経営を開始した4名(うち2名は夫婦)であり、就農開始直後の経営が安定しない中、一定の所得を確保することで安心して農業に取り組むことができた。 また、給付にあわせて、定住担当や県、JAなどの関係機関と連携しながら、対象者の就農状況の確認や経営計画の検討など、今後の経営安定を目指した支援を実施した。
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】
		H28年度には、町農林定住研修制度や産業体験を終えた3名の新規就農者が、本事業を活用しながら農業経営を開始する。 今後も引き続き農業担い手の確保のために、農林定住研修制度や後継者育成支援事業、リースハウス整備事業と組み合わせながら、本事業を活用していく。
	委員会 意見	【評価等に対する意見】
		委員会 評価

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-2 農林業の振興											
	総合戦略 3-1 夢と希望の持てる飯南農業の実現 3-3 「しごと」場の維持・創出											
事業名	リースハウス団地整備事業											
事業概要 (計画P)	園芸作物の生産拡大、園芸担い手確保のため、使用者の事業計画に応じた規模のパイプハウスを、町が予算内で整備し使用者に貸し出す。											
実施内容 (実施D)	・事業対象者 : 認定農業者、認定就農者、農業生産法人 ・ハウス使用料 : ビニールハウスの整備にかかる標準事業費のうち1/3(H27:217円/㎡) ・使用条件 : トマト、メロン、パプリカのうちいずれかを作付し、その生産を基軸として健全な農業経営を営むこと。											
目標数値・進捗状況	①目標事項:40歳代以下の就農者数											
	KPI:5年後に210人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	208					210					
	達成率	—	0.0%				国勢調査のため毎年度調査不可					
	②目標事項:農業法人数											
	KPI:5年後に法人30、認定農業者40人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数値(法人)	19	19				30					
	達成率	—	63%									
	数値(認定)	30	31				40					
	達成率	—	78%									
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課評価	下赤名地区にパイプハウス12棟を設置した。飯南町農林業定住研修制度を修了した新規就農者1名(4棟)、農業参入企業1社(8棟)がH28年4月よりミニトマトの栽培を開始する。新規就農者は栽培ノウハウを持った県外農業参入企業に指導をあおぎ、両者協力しあいながら生産活動を行うこととなる。また、リースハウス入居にあわせ、町と農業参入企業とで互いに協力連携しながら本町の農業振興を図るための協定を締結し、今後の町内栽培指導への協力などを確認した。									
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		H28年度には、角井の農業生産法人を使用者としてパイプハウス5棟を整備する。H29年度以降にも、新規就農者から就農開始や規模拡大に伴うリースハウス整備の要望が何件か上がっており、今後も引き続き実施し、園芸作物の生産拡大、担い手の確保に繋げる。										
	委員会意見	【評価等に対する意見】										
		委員会評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興											
	総合戦略 3-2 観光関連産業の拡大											
事業名	観光振興対策総合支援事業:地方創生先行型 飯南町観光協会運営事業											
事業概要 (計画P)	飯南町の観光産業を拡大させるため、情報発信と交流事業の実施、また、飯南町観光協会の支援を行う。											
実施内容 (実施D)	・情報発信事業 県内外の各種イベント等への出店にあわせた情報発信活動 ・交流事業 マスコットキャラクター、道の駅を活用した交流事業の実施 ・飯南町観光協会支援 観光協会の運営に必要な経費を補助し、インバウンド観光の促進、旅行商品の造成、サイクリング事業、情報発信を実施											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:入込観光客数											
	KPI:5年後に350,000人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	293,007	305,086				350,000					
	達成率	—	87.2%									
	②目標事項:のべ宿泊客数											
	KPI:5年後に15,000人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)備考					
	数 値	9,843	11,886				15,000					
	達成率	—	79%									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	情報発信事業では、インターネットサイトを通じて町の情報発信を行うとともに、観光担当課がこれまで築いてきた関係先を中心にイベント等において町のPR、物産の販売を実施した。また、マスコットキャラクターい〜にゃんは、ゆるキャラグランプリで順位を上げるなど、町内外に徐々に浸透している。観光協会においては特に、インバウンド・サイクリングに力を入れていただき、ツアーによる飯南町への送客を行った。									
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		飯南町観光協会の本格的な活動開始により、これまで、町の観光担当課が直接行ってきた情報発信、PR活動について、取り組み内容について協議・整理し効率的に実施する必要がある。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-3 観光の振興											
	総合戦略 2-1 地域魅力の発掘・発信											
事業名	ふるさと応援寄附促進事業											
事業概要 (計画P)	ふるさと納税制度により寄附をしていただいた方に対し、お礼の品として送る特産品や特典を通じて飯南町の魅力を発信する。											
実施内容 (実施D)	・ふるさと応援寄附に協賛していただける事業者の発掘 ・お礼の品の追加・PR ・前年度寄附者への寄附金活用報告、リピーター対策											
目標数値 ・進捗状況	①目標事項：ふるさと納税件数											
	KPI: 5年後に12,000件											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	6,789	9,363				12,000					
	達成率	—	78.0%									
	②目標事項：											
	KPI:											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値											
	達成率	—	#DIV/0!									
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	協賛事業所については、年度当初は5事業所であったのが、年度末には10事業所にまで増加した。お礼の品については、年度当初12品目であったのが、年度末には28品目にまで増加した。 また、例年と同様に前年度寄附者(約6,400名)に対して寄附金活用報告を行い、リピーターの確保を図った。									
		B										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		協賛事業所やお礼の品の数を増やすなどして、引き続きふるさと応援寄附促進事業を通して飯南町の魅力を発信していく。										
	委員会 意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 3-4 商工業の振興											
	総合戦略 3-3 「しごと」場の維持・創出											
事業名	定住等総合支援事業: 地方創生先行型 創業支援事業											
事業概要 (計画P)	総合戦略に掲げる「しごと」場の維持・創出を実現するため、町内における創業を応援する飯南町ビジネスプランコンテストを計画											
実施内容 (実施D)	地域資源や遊休施設等を活用した新規性、独創性のあるビジネスプランを募集し、飯南町産業支援センター構成員を審査員として、応募のあった2団体を審査した。採択2件 賞金100万円ずつ 結果、2団体とも採択となり、今後、5年後事業が軌道に乗るよう支援していく。											
目標数値・進捗状況	①目標事項: 町内就業者数											
	KPI: 5年後に2,800人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	2,768					2,800 国勢調査のため毎年度調査不可					
	達成率	—	0.0%									
	②目標事項: 新規創業企業従事者数											
	KPI: H27-31年の累計が25人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	23	2				25 年5人以上が目標					
	達成率	—	8.0%									
	③目標事項: 65歳以上労働力従事者数											
	KPI: 5年後に640人											
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値) 備考					
	数 値	610					640 国勢調査のため毎年度調査不可					
	達成率	—	0%									
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】										
		担当課 評価	創業して間もない個人事業主や新ビジネスに取り組もうとする企業の取り組み内容について、産業支援センター構成団体と共有することができた。今後、創業者や企業が困ったときに、金融機関やしまね産業振興財団などを活用しやすい関係ができた。									
		B										
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】										
		本町は、国の創業支援計画認定を受けており、今後、この制度を活用した特定創業支援者として応援できるモデル創業者を増やしていきたい。 町の遊休施設等を活用した具体的なビジネスプランも計画していく。										
	委員会意見	【評価等に対する意見】										
		委員会 評価										

※評価A: 極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B: 想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C: 想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D: 想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E: 効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 6-1 自然環境の保全													
	総合戦略													
事業名	町行・町有林造林事業、公社造林事業、森林整備協定、ふるさとの森再生事業、森林整備加速化事業													
事業概要 (計画P)	森林経営計画に沿って適切な森林整備を実施する。													
実施内容 (実施D)	町行・町有林造林事業・・・計:50.25ha(切捨間伐:4.67ha、搬出間伐:11.82ha、新植:3.00ha、除伐:15.90ha、枝打:13.35ha、下刈:1.51ha) 公社造林事業・・・計:140.82ha(搬出間伐:140.82ha) 森林整備協定・・・計:30.37ha(雪起:0.58ha、下刈:25.01ha、除伐:4.78ha) ふるさとの森再生事業・・・計18.15ha(地植え:1.23ha、植栽:3.02ha、下刈:10.10ha、クズ枯殺:3.00ha、補植:0.80ha) 森林整備加速化事業・・・計18.88ha(搬出間伐:18.88ha)													
目標数値・進捗状況	①目標事項:年間森林施業面積													
	KPI:年間森林施業面積を259haに													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	136	258.47				259							
	達成率	—	99.8%											
	②目標事項:「空き缶等散在性ごみ収集活動」におけるごみ収集量													
	KPI:ごみ収集量数を1,000kg以下													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	1,820	1,820	1,709			1,000	達成率100%以下						
	達成率	—	182%	171%										
平成27年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	計画に沿って進んでいる											
		B												
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		引き続き計画に沿って進める。												
	委員会 意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する

PDCA進捗管理シート

第1部会

基本施策	総合振興計画 6-1 自然環境の保全													
	総合戦略													
事業名	清掃業務経常管理費													
事業概要 (計画P)	『環境美化の推進』のため、住民の美化意識の高揚を図る「空き缶等散在性ごみ収集活動」等を実施する。ごみ処理対策・減量化、3R事業等については、雲南市・飯南町事務組合、雲南広域連合と綿密に連携し進めていく。													
実施内容 (実施D)	○ごみ処理対策の事務経費 ○空き缶等散在性ごみ収集活動(4月実施)経費 ○ごみ収集ボックス購入													
目標数値 ・進捗状況	①目標事項:年間森林施業面積													
	KPI:年間森林施業面積を259haに													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	136	258.47				259							
	達成率	—	99.8%											
	②目標事項:「空き缶等散在性ごみ収集活動」におけるごみ収集量													
	KPI:ごみ収集量数を1,000kg以下													
		基準値	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度(目標値)	備考						
	数 値	1,820	1,820	1,709			1,000	達成率100%以下						
	達成率	—	182%	171%										
平成 27 年度	評価 (C)	【27年度評価】												
		担当課 評価	散在性ゴミ収集活動については、10年目を経過し、住民が一同に町内美化に取り組む姿勢・行動は大変評価でき、今後も継続して行きたい。しかしながら収集されるゴミの量は、減少傾向にあるものの今だ多い状況で、近年不法投棄も多く見受けられる。ゴミ収集ボックスについては、要望が多くよせらるようになった。											
		B												
	改善 (A)	【28年度における取り組みなど】												
		不法投棄の対策強化として、県の事業を利用し、保健所とともに不法投棄ゴミの撤去やパトロール、カメラ・看板の設置を実施して行く方針 ゴミ収集ボックスについて、概ね町内全域に設置は完了したと思われるが、耐用年数の経過もあり修繕件数も増加傾向にある。近年では、連坦地のゴミのネット防御に対し、カラスが荒らすようになり、ボックスに転換を要望する声が多くなって来ている。全町的な調査が必要かと思っている。												
	委員会 意見	【評価等に対する意見】												
		委員会 評価												

※評価A:極めて効果的であり、このまま継続して事業を推進する

B:想定する効果に達しており、継続して事業を推進する

C:想定する効果をやや達しておらず、要因の分析を要する

D:想定する効果を大きく下回っており、要因の分析と目標値の見直しを要する

E:効果が出ておらず、事業自体の抜本的見直しを要する 10